☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１８

神戸新聞　平成３０年４月１３日（金）

座禅で心の落ち着きを　青垣・高源寺

氷上西高の新1年生体験

目を閉じ、静かに足を組む生徒たち＝高源寺

氷上西高校（丹波市青垣町佐治）の新1年生33人が12日、同市青垣町桧倉の高源寺で座禅を体験した。「ホーホケキョ」とウグイスの声が響く静寂の中、生徒たちは目を閉じ、心を落ち着かせて座禅を組み、忍耐力の大切さを学んだ。

高校生としての自覚を育もうと、入学して初めての校外学習として毎年企画している。座禅のほかに、境内の清掃も行った。

この日は山本祖登住職から「仏と同じような心になるために座禅を組むのです。欲を無くすのです」と説明を受けた後、鐘の音を合図に座禅を開始。ほとんどの生徒が初体験とあって、時間とともに苦痛で顔をゆがめたり、背中が曲がったりと悪戦苦闘。住職から「きょろきょろしない！」と活を入れられつつも、何とか1時間に及ぶ修行を耐え抜いた。

「野球部に入り、青春は部活にささげるつもり」という徳岡樹洸さん(15)は「精神力が高まった。授業中に睡魔に襲われても耐え抜ける気がする」と自信を深めたようだった。

（大田将之）